

畜産関係施設のクマ被害が多くなっています！！

1 クマによる畜産被害内容

(1) 畜産被害の概要

- ・飼料：圃場でのデントコーン等の食害、畜舎内外での濃厚飼料の食害
- ・家畜：比内地鶏の圧死・食害、子牛の食害
- ・養蜂：蜂蜜の食害、蜂箱の損壊
- ・その他：畜舎、付属設備等の損壊

(2) 発生件数について

ここ数年、被害件数は増加傾向にあります。

R2（1～8月期）は、前年よりも畜舎への侵入が多い他、これまでに殆ど無かった畜舎内での子牛の食害が確認されています（畜産被害8件）。

今後、親離れした若いクマの出現が増加し、これまで以上に餌を求めるクマの出没が増加することが懸念されます。

〔参考：R2 畜産被害の内容〕

- ・飼料被害：畜舎内外での濃厚飼料の食害 6件
（鹿角市3、秋田市1、仙北市1、東成瀬村1）
- ・家畜被害：子牛の食害 2件（鹿角市2）

2 クマ対策

自然保護課や畜産振興課が作成した、リーフレットを県内畜産農家へ配布し、クマへの対策や注意喚起を行っている。

**【緊急告知】**
クマに注意!! ～畜産農家の皆様へ～

畜舎にクマが侵入し、子牛や飼料が食べられるなど、大きな被害が発生しています！！

クマの出没状況等

クマの目撃件数が急増し「ツキノワグマ出没に関する注意報」が発令されています。
今後、親離れした若いクマの出現が多くなり、これまで以上に餌を求めるクマが多くなることから、十分な警戒が必要です。
このため、畜舎周囲へのクマ出没も想定されますので、作業中の遭遇には十分に注意してください。

留意事項と対策等

(1) 作業を行う際の注意事項
・クマの行動が活発になる早朝、夕方の作業時は周囲に注意を。
・作業中はラジオなど音が出るものを携帯し、存在をアピール。
・頻りにクマが出没する地域では、複数人で作業を実施し、警戒を。
(2) 誘引物の除去
・餌となる飼料等の適切な保管、畜舎内への侵入防止（畜舎や飼料保管庫の施錠等）。
・草刈機などに使われるガソリンなどの揮発性物質も、クマの誘引物となるため、保管場所等に注意。
(3) 侵入防止策
・緩衝帯の整備、電気柵など侵入防止柵の設置



＜お問い合わせ＞
・最寄りの家畜保健衛生所（北部0186-62-2715、中央018-864-0401、南部0187-62-5354）
・秋田県農林水産部 畜産振興課（018-860-1806、1808）

※ ツキノワグマ情報 英の国あきたネットコンテンツ番号 23295
<http://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/23295>

クマに注意!!



クマ被害の防止方法

- 山や野外での活動では、あらかじめクマの出没情報を確認して、必ず2人以上で行動し、単独行動は慎みましょう。
- 鈴や笛、ラジオなどを身につけ、周りに音を出しながら行動しましょう。
- 子グマを見かけても、そばには必ず母グマがいると考え、決して近寄らないでください。
- もしクマに出会ってしまったら、あわてずゆっくり後ろにさがり、静かにその場から立ち去りましょう。
- クマの足跡やフンなどを見つけた場合は、その先には進まずに引き返しましょう。
- 生ゴミや残飯、廃棄果物などは山や野外に捨てたり、放置しないでください。クマをその場所に引き寄せる原因になります。

クマに関する情報

美の国あきた ツキノワグマ

検索

秋田県生活環境部自然保護課